

共同研究開発事業報告書**1 事業名称**

国立循環器病研究センターとの連携による独自技術を用いた臨床現場即時検査（POCT）向け免疫検査機器の開発

2 実施期間

令和 5 年 7 月 5 日 から 令和 6 年 3 月 31 日

3 実施場所

大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号 国立研究開発法人国立循環器病研究センター オープンイノベーションラボ 30602、30601

4 連携した大学、研究機関等の名称（産学連携の場合）又は団体の構成員の名称（企業間連携の場合）

国立研究開発法人国立循環器病研究センター（以下、国循という。）

5 事業の経過及び内容

令和 5 年 7 月以降、本件計画達成のため取り組んだことは以下の通りである。

- ① 令和 5 年 7 月より国循との共同研究契約締結に向けて国循産学連携本部と打合せ開始。同年 8 月に国循バイオバンク長 朝野仁裕先生を中心として、共同研究を検討することが決定。研究内容等の協議開始。
 - ② 令和 6 年 1 月国循バイオバンクとの研究計画等完成。（課題「D ダイマー定量測定における、ラテラルフロー法電気化学式免疫センサと既認証標準測定法との相関性に関する試験」）
 - ③ 令和 6 年 3 月 27 日、国循の倫理申請許可取得。
 - ④ 令和 6 年 4 月～5 月、国循の倫理審査会にて研究許可予定。
- 上記共同研究で使用するセンサ、測定器等の研究開発を進めている。

6 事業の成果

国循バイオバンクとの共同研究（課題：「D ダイマー定量測定における、ラテラルフロー法電気化学式免疫センサと既認証標準測定法との相関性に関する試験」）にて使用するセンサ、測定器の開発に目途を得た。

- ① センサ構造の抜本的改良により同時再現性と正確性を大幅に向上。
- ② 測定器開発ではユーザビリティ向上を目指して一次試作を完了。

7 今後の展望

令和 6 年 5 月、国循の倫理審査委員会の承認を経て共同研究を開始し、国循より臨床サンプルの提供を受けて相関性試験予定。既存の検査装置との比較検証を行い、更に感度向上等に取り組む。令和 6 年 11 月 D ダイマーの第三者認証申請、令和 7 年 3 月第三者認証取得を目指している。

8 今後、産学連携や企業間連携により事業を実施する事業者への助言等

助言する立場ではありませんが、弊社は大阪大学、国循等の研究機関、大阪府や吹田市など行政、複数の大手企業など、多くの関係者の皆さまの支援を受けて成長を目指すベンチャー企業です。スピード重視の成長を果すためには遠慮や躊躇なく積極的に連携を進めることが重要だと考えています。